

当院で腹腔鏡下尿管摘出術を受けた患者様の臨床的特徴に関する観察研究について

腹腔鏡下尿管摘出術が2014年4月に保険収載されて以来、多くの施設でその手術がされています。多くの施設では多孔式（複数個所の傷）で手術が行われていますが、当院では段階的に傷を減らし、現在では単孔式（臍の傷のみ）での手術を行っています。単孔式で多孔式と同様に手術が安全にできれば、美容的に優れていることから患者様の満足度の向上にもつながると思われれます。しかし、単孔式手術は広く行われていないため、その安全性を検討する必要があります。

本研究では当院で腹腔鏡下尿管摘出術を行った方の疫学情報、臨床情報を収集して、臨床的特徴を明らかにして、その安全性を検討することを目的とします。

研究目的

当院で腹腔鏡下尿管摘出術を受けた方の臨床的特徴を調査する。

研究対象者

当院で腹腔鏡下尿管摘出術を受けた患者様。

対象期間

2015年10月1日から2022年12月31日。

調査方法

上記期間に手術を受けた患者様の疫学情報、臨床情報を診療録から収集する。

調査項目

年齢、性別、発症日、既往歴や併存症、血液検査所見、画像所見（腹部超音波検査、腹部CT）、術前感染の有無、手術日、手術方法、手術時間、手術動画、病理組織学的検査結果、術後合併症の有無と治癒までの期間。

（患者様から新たに情報収集や追加検査、検体採取を行うことはありません。また、利用する情報からは、氏名・住所など直接個人を特定できる情報は削除します。さらに、研究結果は、学会や論文などで発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公開しません。）

この研究への御協力について（オプアウト）

本研究は参加された方の診療情報等のみを用いる研究であり、国が定めた指針により「対象となる方のお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究目的を含めて研究の実施に関する情報をホームページ上などに公開し、研究への協力を希望されない患者さまからの協

力拒否の申し出の機会を保障することで、同意を得たこととすることができる」とされています。このような手法を「オプトアウト」と言います。本研究への協力を希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までお知らせください。

研究に関する問い合わせ先

国民健康保険 小松市民病院 外科

研究代表者：竹本法弘

住所：石川県小松市向本折町ホ 60

電話番号：0761-22-7111（代表）